



## 農作業メモ

**水 稻**

田代 好幸  
農畜産課  
0969-22-1105

### ① 水田除草剤の適正使用

農薬は、あらかじめ品質・効果・残留性などが、基準によりチェックされ、問題がないと判断された薬剤が農林水産大臣の登録を受け、販売・流通しています。

水田除草剤として製品に貼付されているラベルには効果や薬害、残留性等から設定された使用基準や使用上の注意事項が記載されています。その内容を遵守して使用してください。薬剤の特長や散布方法を把握し効率よく利用し、特に散布時や散布後数日間（7日程度）の水管理には十分注意を払う必要があります。湛水状態を保つことは、安定した除草効果が得られるばかりでなく水田水系外への除草剤成分の流出を防止するためにも重要となります。

散布した除草剤の有効成分は水田土壌の表層に吸着されて除草効果を発揮します。安定した効果を得るためには、この処理層を壊さない水管理が大切です。落水や漏出を防ぎ、掛け流しを行わないようにしましょう。

また、水が少なくなり田面が露出するとその部分の除草効果が低下しますので減少分をその都度補充してください。

尚、藻類対策のモゲトン粒剤もしくは、1度目の散布で効

果が出ない場合のアトリ粒剤のどちらか一方の利用が可能です。

### ② 有効茎数の確保と中干し

除草期間が終了したら有効茎数を確保するために暖かい日中は浅水管理で分けつの促進に努めてください。1株の茎数が18本程度確保できたら中干しを行ってください。（中干し期間は、5月10日頃から10日間程度の中干し実施）また、水管理を容易にするために、中干し前の土が軟らかい時に「溝切り」を行いましょう。

### ③ 中間施肥

中干し前に、茎を丈夫にするために珪酸加里を10㎡に20kg程度を施用してください。

### ④ 病害虫防除

葉いもち・紋枯病の予防対策として、中干し前に「オリブライト剤」を散布してください。（散布後、7日間は落水しないでください。）

また、畦畔の除草による耕種的防除に努めましょう。  
※補植苗は、病害虫の発生要因となりますので、早めに取り除きましょう。



## 4月、5月の柑橘園管理

**果 樹**

原口 悠貴  
下島営農指導センター  
080-2725-7775

### 1. 病害虫防除

対象病害虫	品 種	農薬名	希釈 倍数	散布液量 (100ℓの場合)	備 考
そうか病	温州	デランフロアブル	1,000倍	100mℓ	4月上旬（発芽3mm頃）
かいよう病	中晩柑	コサイド3000 加用 クレフノン	2,000倍 200倍	50g 500g	開花前（かいよう病の発生が心配される園）
訪花害虫	全品種	モスピランSL液剤	4,000倍	25mℓ	開花期～満開期（5月上旬～中旬）
灰色カビ病	全品種	ファンタジスタ顆粒水和剤	4,000倍	25g	開花期～満開期
ホコリ・サビダニ、 カイガラ類	中晩柑	モベントフロアブル	2,000倍	50mℓ	開花盛期～落弁期
黒点病	全品種	ナティーボフロアブル	1,500倍	67mℓ	落弁期～一次落果期

※そうか病、灰色カビ病対策でフルーツセイバー1,500倍も使用可。 ※ケシキスイ類・コアオハナムグリはエクシレルSE5,000倍も使用可。  
※モベント(F)で皮膚炎等の恐れがある場合はアグリメック2,000倍を散布。

### 2. 施 肥

栽培タイプ	肥料名	品種名	施肥時期	10 a当たり
全タイプ	硫マグエース	全 品 種	4月上旬	2袋
通常タイプ	果樹専用 スペシャル	デコポン	4月上旬	5袋
		河内晩柑・清見 甘夏・パール柑		4袋
		ポンカン		8袋
		極早生	4月中旬	6袋
		早生・中熟・普通		8袋

### 3. 葉面散布

まずは樹勢を回復し、その後花芽分化促進を行いましょう。

目的	薬 剤 名	希釈 倍数	備 考
樹勢回復	尿素又は アミノジューシー N14 又は 神協スピリッツ	500 倍	いずれかを 使用ください
花芽分化 促進	ファームント 等 ※1	500 倍	
緑化促進	葉面マグ	200 倍	

※1 ジューシーエースについては、メーカー販売休止となっております。使用する際はその他葉面散布剤で代用をお願いします。詳しくは、近くのJA経済課・購買店舗までお問い合わせください。



# 野菜類防除基準



**野菜**  
宮内 勝幸  
上島営農指導センター  
080-2751-6373

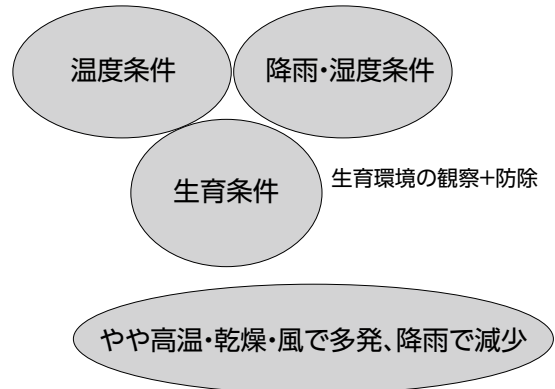
※適用作物名が『野菜類』となっており、家庭菜園にも比較的使いやすい薬剤です。春先から虫、病気の発生が多くなりますのでご注意ください。

## I. 病害虫防除

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
病害	灰色かび病		立枯病		黒斑病、斑点細菌病			立枯病		灰色かび病		
	軟腐病、べと病			うどんこ病		軟腐病、べと病						
						さび病						
											さび病	
虫害	アブラムシ・ハダニ											
	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、オオタバコガ											
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
病害	灰色かび病	ポトキラー水和剤 1000倍 使用回数制限なし			発病前							
	斑点細菌病 黒斑病 軟腐病	コサイドボルドー 1000倍 使用制限なし Zボルドー 500倍 使用制限なし										
	うどんこ病	カリグリーン 800~1000倍 回数制限なし		収穫前日まで (トマト・ミニトマトは除く)			ハーモメイト水溶剤 800~1000倍 使用制限なし		収穫前日まで			
		硫黄粉剤50 3kg/10a		ジーファイン水和剤 1000倍 使用制限なし			収穫前日まで (なすは除く)					
	さび病											
虫害	アブラムシ	サンクリスタル乳剤 300倍		収穫前日まで (なす・トマト・ミニトマトは除く)								
		硫黄粉剤50 3kg/10a		アカリタッチ乳剤 1000~3000倍		使用制限なし 収穫前日まで						
	ハダニ											
	アオムシ コナガ	デルフィン顆粒水和剤 1000倍 使用制限なし		収穫前日まで 発生初期			ゼンターリ顆粒水和剤 1000~2000倍 使用制限なし 収穫前日まで 発生初期 (はくさいは除く)					
ヨトウムシ	トアローフロアブルCT 1000~2000倍		使用制限なし 収穫前日まで 発生初期			(*オオタバコガ* 500~1,000倍)						
オオタバコガ	※上記の剤は同一種類剤 (BT剤) のため、散布回数は、総計で4回まで											

- 病害防除**
- 降雨の後に防除
  - チッソが効いて軟弱な場合には注意
  - 温度が下がってきたら、べと病の防除
  - 乾燥してきたらうどん粉病の防除
  - 雨が多い場合は細菌病、カビ病ともに予防剤散布
  - 風が良く当たるところでは細菌病が多い(防風ネット利用)

- 虫害防除**
- 強い風が吹いたら、虫が増える
  - 乾燥したらダニが増える
  - 雨が多いと、全般的に虫は少ない
  - 虫が見えたら防除。7日~14日後に卵や蛹が成虫になるのでまた防除。



※防除薬剤は「薬剤の種類」、「希釈倍数」、「散布液量」、「散布回数」に注意し、基準を厳守する。